

西俊輔の「毎日楽しく」

Vo1.61 2010年9月号

かなり前の「毎日楽しく」で、不平不満や愚痴や泣き言、他人の悪口ばかり（以下、マイナスワードと呼びましょう）を口にしているとだんだんと運が逃げていく、という話を書いたことがあります。

この話はもともと、高額納税者番付で全国1位となって話題となった斉藤一人さんという方がお話されていたことです。斉藤さんは、言葉には幸せの波長を出すものと幸せでない波長を出すものがある、幸せでない波長を出すマイナスワードばかり話していると不幸を呼び寄せてしまう、というようなことをお話されています。このように書くと、なにやら超常現象的な怪しげな感じがしないでもありませんが、同じようなことを言っている有名経営者は多いですし、科学的な根拠がまったくないわけでもないようです。

お話していて、その相手がマイナスワードをたくさん話される人だと、聞いているほうはつらいものです。また、他人の悪口を言う人だと、聞いているのがつらいのに加えて「自分のこともどこかで悪く言われているかも」と、意識するかどうかは別にして感じてしまうものです。そうすると、自然とそういう人からは疎遠になってしまうこともあるでしょう。ビジネスもつまるころ人同士のお付き合いですから、他人から避けられるようになってしまうと、仕事もうまくいかなくなるかもしれません。すなわち、ふだん話す言葉によって、自分の環境そのものを変えてしまうことになるかもしれないということです。

こう書くと、恵まれない環境にいるから愚痴のひとつも言いたくなる、という反論を受けそうですが、恵まれないからマイナスワードを話すのか、マイナスワードを話すから恵まれないのか、というのは微妙なところ。斉藤さんや、この「毎日楽しく」で何度か書いている北川八郎さん、その他多くの有名経営者は、後者のほうだと言っています。

おもしろいのは、マイナスワードを好む人たちはそういう人たちでグループを作り、斉藤さん風に言うと幸せの波長を出す言葉を好む人たちはそういう人たちのグループを作るとことです。

みなさんはどちらのグループに属したいですか？

